

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

1年目研修のなかで、慢性疾患と上手 に向き合うためにワーファリンによる 食事制限理解にむけてとりくんだ

看護師 岩波 舞さん



研修2年目を迎えた岩波さん

患者さんの心の 支援ができました！

病気の治療のために好物を食べられない…、この辛さを乗り越えようと決意した山田勲(つよし)さんから、入院中、山田さんの看護を担当した1年目研修中の岩波舞看護師に感謝の手紙が届きました。

糖尿病、脳梗塞、下肢動脈硬化、心房細動などの疾患を持つ山田さんは、貧血等の精査を目的に去年の秋、代々木病院3階病棟に入院となりました。山田さんは、ワーファリンを服用していましたが、ワーファリンは「血液ドロドロをサラサラにする」作用があります。しかし、納豆

には、ワーファリンの作用を阻害する成分が含まれているため、ワーファリンを服用するようになったとき、納豆を口にほうばり、声もなく眼を閉じて何度も噛みしめて、うなずき、幸せそうに涙を流しました。

その山田さんが、胃内視鏡や大腸内視鏡検査のために、ワーファ

いかということを感じたといいます。

山田さんは、どうしても納豆がきらめき

れず、ワーファリンとヘパリンの薬効の違いについて医師や薬剤師からは説明を受けてはいたものの、納得がいかない様子でした。

岩波看護師は、どう話したら山田さんに分か

「母子家庭で育った

ただいま研修中



今日も笑顔で。翌日退院予定の田島スエさんとツーショット

いぶん悩んだといひます。そして、自分だってらどう説明してもらえは分かりやすいか考えたすえ、先輩のアドバイスも受けて、目で見てわかりやすいイラスト入りのパンフレットを手作りすることにしました。

そして、ワーファリンは内服薬で、一週間ほど効果が持続するが、ヘパリンは点滴しかなく、2、3時間しか効果が持続しないため、どうしても納豆を食べるとすると、毎日来にヘパリンの点滴を受けに来なければいけなくなることを説明しました。

その結果、「俺の場合、糖尿病もあるし、血液ドロドロだからいつもサラサラにしないとかなきゃ、詰まっちゃうのな!」納豆食べたければ、毎日通院すればいいわけだ。それは、難しいな!」と、山田さんは心えてくれたのでした。

そして、「あの説明を受けて、俺は、ワーファリンと前向きにつきあって、納豆を我慢する決意をした!」と言ってくれました。

子ども好きで、お節介な性格」の岩波さん、好奇心から民医連汐田総合病院の高校生一日看護師体験に参加し、そこで出会った耳の聞こえない患者さんとコミュニケーションをとりたいと話を習ったり、スケッチブックでの筆談などするなかで、その患者さんから「あなたのような人が看護師さんだったら」と言われたといひます。

「こんなにも、自分を必要としてくれる世界がある!」。看護学校への進学を希望すると、先生たちは猛反対、「なにせ、数学は赤点でしたから」と肩をすくめます。もともと負けん気の岩波さんは、お母さんに支えられ、独学で勉強強い看護学校に合格!そして代々木病院で看護師としての一歩を踏み出したのでした。

岩波看護師は、「患者さんの話を傾聴することの重要性を感じることができた」と言います。そして、研修2年目の春をむかえたいま、この学びを、今後の看護実践に生かそうとしています。

手術台

緑がまぶしく、さわやかな季節です。代々木診療所では、冬季の寒い時期を除いて、毎月第4水曜日のお昼時に診療所の前で、「青空健康相談会」を行っています。地域在住の方、商店街の方、通りがかりの会社員の方が約20〜40人参加されます▼3月、若い男性会社員の方に、食事や運動などの注意点を申し上げたところ「親戚でもないのにご親切にこんなに心配してくれて、ありがとうございました」と深々と礼をしていかれました。忙しいと、心身共に疲れていて、ちょっとしたやさしさがないと、さういふことがありません。また、毎回参加し、高血圧症の治療開始となった方や個人健診、会社の健診を予約される方もいらっ

しゃいます▼約3年間、継続しているの、前月は時間がなく、たくさん並んでいたし、今日は必ず測ってもらおうと急いで来たよ」と期待され、待たれています▼国民みんなが、健康で幸せに暮らそう、医療保険制度や介護保険制度を充実させていきたいものです。(保)